

第45回茨城県統計大会開催



表彰を受ける統計グラフコンクール受賞者



講演を行う木村捨雄先生

第45回茨城県統計大会が、去る12月19日(金)ひたちなか市文化会館大ホールにおいて開催されました。統計大会は、統計功労者の表彰や児童・生徒の統計グラフコンクール表彰などを通じ、統計事業の進歩発展と統計知識の普及啓発を図ることを目的として、昭和34年以来毎年開催され今年で45回を数えます。

大会は、地元合唱団「合歓の会」によるさわやかなコーラスとともに幕をあけ、桑名満男水戸市統計調査員の開会の辞で始まりました。本大会の主催者である角田芳夫副知事のあいさつがあり、続いて御臨席された堀明彦総務省統計局統計基準部統計企画課長、潮田龍雄県議会議長、齋藤和夫県町村会長からそれぞれ御祝辞をいただきました。

表彰式では最初に、統計調査に長年従事され、功績が顕著な方々に対して、県知事表彰、県統計協会総裁表彰、各省大臣表彰、全国統計協会連合会表彰が行われました。続いて、平成15年に叙勲・褒章を受けられた方々が紹介された後、茨城県統計グラフコンクールの県知事賞、県議会議長賞、教育長賞、優秀校賞等の表彰があり、あわせて全国コンクール入賞者の表彰が行われました。表彰式の後、受賞者を代表して三富康子水戸市統計調査員から謝辞がありました。

また、統計グラフ受賞者インタビューが行われ、県知事賞を受賞した日立市立中里小学校4年生の滝優希さん、県議会議長賞を受賞した猿島町立逆井山小学校3年生の飯田瑞生さん、稻毛田成美さん、野口あおいさん、野口詩帆さんから、プロジェクターで受賞作品が会場に映し出されるなか、受賞した時の感想やグラフ作品で工夫した点などについて話がありました。

次に、「統計でみる21世紀の3大課題（人口、食料、環境）とこれからの統計教育」と題して、名城大学大学院総合学術研究科教授の木村捨雄先生による記念講演が行われ、熱心に聞き入りながらメモをとる参加者の姿が多く見受けられました。

最後に、桜井茂男千代川村統計調査員から、「統計調査への協力が得やすい環境づくりに努める」、「県民のニーズに即した統計情報を分かりやすく利用しやすい形で提供することに努める」などの内容を盛り込んだ「大会宣言」が朗読され、満場の拍手で採択され、小島功伊奈町統計調査員の閉会の辞で大会は盛況のうちに終了しました。

大会の開催にあたり御協力をいただきました関係者の皆様、並びに大会に御出席されました皆様に対しまして、本紙面を借りて厚くお礼申し上げます。